

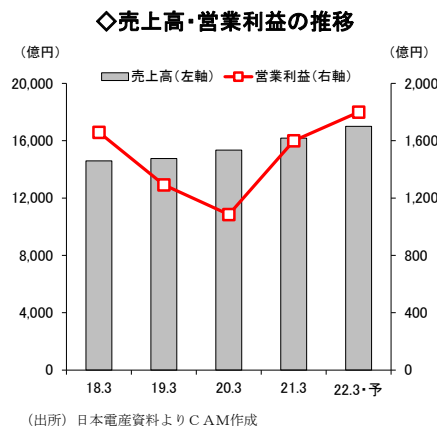
企業ニュース 日本電産

(東証1部：6594) <https://www.nidec.com/jp/>

作成者：村上大志

二人三脚による経営で10兆円企業を目指す

1973年設立。精密小型モータにおける数々の技術革新、海外代理店の拡張、積極的なM&Aなどで事業を拡大。特にM&Aを成長の原動力として戦略的に活用し、成立後の統合プロセスの評価も高い。最も注力するEV（電気自動車）用トラクションモータシステム「E-Axle（イーアクスル）」は、EVで先行する中国で量産、同システムを供給する部品メーカーとしては世界トップクラスの実績を誇り、26.3期の販売台数280万台を目指す。2021年4月に初のCEO（最高経営責任者）交代を発表、6月から関社長（元日産自動車執行役員副最高執行責任者）がCEOに就任したが、二人三脚による経営は維持され、同社が標榜する10兆円企業に向けて成長加速が期待される。



トラクションモータの受注は順調に拡大

22.3期・第1四半期（4-6月）の連結業績は売上高が4,475億円、前年同期比33%増、営業利益が446億円、同60%増。前年度から実施している収益構造の抜本的な改革で利益率倍増を図るプロジェクト「WPR（ダブル・プロフィット・レシオ）」が奏功し、営業利益率は10%、同1.7ポイント改善した。製品グループ別では精密小型モータが減益となったが、家電・商業・産業用は好調で大幅な増収増益を達成した。

22.3期の会社計画は売上高が1兆7,000億円、前期比5%増、営業利益が1,800億円、同13%増。決算と同時に発表された新中期戦略目標「Vision25」では、21.3期を最終年度とする前中計の売上高目標だった2兆円を23.3期に再設定するとともに、新たに26.3期の売上高目標4兆円（自律成長3兆円、M&A1兆円）が示された。注力するEV用トラクションモータは中国、欧州の顧客を中心に受注が拡大している。7月には、EV販売会社のASF社と佐川急便が共同で実証実験を行っている新型配送用EV「G050」に、トラクションモータとインバータの採用が決定した。「G050」の製造を担う柳州五菱汽車（中国）は中国で販売が拡大しているミニEVの製造元でもあり、本件を通じてトラクションモータの販路拡大が期待される。

【株価動向・投資判断】

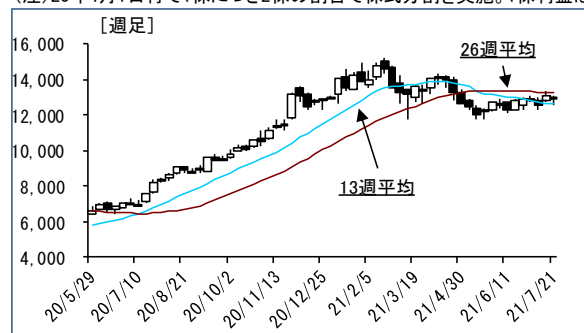
収益率の改善は着実に進んでいる。世界的にEV化が進む中、コア銘柄として注目したい。

<6594 日電産 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高 百万円 (伸び率)	営業利益 百万円 (伸び率)	税引前利益 百万円 (伸び率)	当期利益 百万円 (伸び率)	1株利益 円	1株配当 円
20.3	1,534,800 (▲4)	108,558 (▲16)	105,160 (▲19)	58,459 (▲47)	99.4	115.00
21.3	1,618,064 (▲5)	159,970 (▲47)	152,937 (▲45)	121,945 (▲109)	208.2	60.00
22.3 予	1,700,000 (▲5)	180,000 (▲13)	175,000 (▲14)	140,000 (▲15)	239.0	60.00

(注) 20年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施。1株利益は当該株式分割考慮後の数値、1株配当は分割前の実際の配当金額



【主要株価指標】 (売買単位：100株)	
株価 (2021/7/21)	13,000 円
年初来高値 (高値日)	15,175 円 (21/2/16)
同 安値 (安値日)	11,750 円 (21/5/13)
予想 P E R (22.3 予)	54.4 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	1,897.7 円
P B R	6.85 倍
予想配当利回り (1株当たり配当金年60.00円)	0.46 %
R O E (21.3)	11.9 %
発行済み株式数	59,628 万株